

総会出欠回答フォームに記載いただいたご質問・ご意見等について



こちらに記載の質疑応答は、総会出欠回答フォーム内に記載いただいたご質問、ご要望、ご意見等です。総会終了後に支部ホームページにもアップさせていただき、総会ご欠席の会員様にも情報共有がはかれるように手配いたします。

尚、個人が特定できるような箇所、また若干攻撃的な表現を用いているは文言は修正しておりますので、ご了承ください。

■ハガキに産業カウンセラー協会の一言も無くて怪しかった。送り先は東北支部のみだと何の東北支部かわからない。次回は送り先を明記してほしい。

■東北支部総会のご案内ありがとうございます。ハガキに日本産業カウンセラー協会の名称がなかったので、危うく捨てるところでした。

1 ■今回郵送された出欠確認の葉書ですが、東北支部総会とだけ記載されていて何の支部かがすぐに分からず困惑しました。せめてロゴマークだけでもプリントしていただけたら、分かりやすく助かります。最近の詐欺他諸々の犯罪を考えると気軽にアクセスすることもできません。

■届いたハガキに団体名が記載されていなかったで、詐欺じゃないよね？とQRコードの読み取りに躊躇しました。何か記載しない理由があったのでしょうか？ HPからのアクセスにしました。

この度は発送ハガキへの団体名記載漏れ、大変申し訳ございませんでした。

今後、発送物の記載内容チェックを強化し、ご不安お掛けしないよう注意を払います。

2 2025年から協会の会員資格を更新しません。

4月1日で会員資格は切れているので、個人情報削除してください。

※退会に関しては、ご自身で本部へ「退会届」を提出するのが基本となっているため、事務局では、こちらの方宛てに「退会意思」の確認メールを送らせていただきました。

3 議案書のリンクに飛んだら、入力していた回答が消えてしまいました。

議案書＝決議事項の一覧かと存じますが、回答済みのものが消えてしまうとのこと、お手数おかけして申し訳ございませんでした。回答の為には先にご確認いただく必要があり、設問の箇所にリンクを貼りました。

次回は注意事項を添えて作成してまいります。

4 キャリコン更新講習はオンラインが増えていますが、対面でこそ得られるものも多いと思うので、人員不足等事情は様々あると思いますが、対面講習も増やしていただけたら嬉しいです。ご検討をよろしくお願いいたします。

以下はキャリア事業部より回答を得たものです。

.....

この度は、ご意見をいただき、ありがとうございます。

キャリアコンサルタント更新講習は、対面による講習が望ましいことは、承知しているところです。

対面による講習で、学びがより深まることも、いただいたご貴見のとおりです。

一方で、収益面、学びの深化面で、受講者が一定数確保できないと、効果的な講習にならない点も、開講にあたって考慮しなければならないところです。

気候が悪い時期にオンラインによる更新講習を開催することにより、とても助かるとの声も頂戴しており、対面講習とオンライン講習をバランスよく組み合わせ、今後も計画したいと考えております。

なお、更新講習の開催案内が、当方の周知不足で、十分に伝わっていないことも考えられますので、周知方法を工夫し、受講者の確保と講習の安定的な開講に向けて、引き続き努力してまいります。

今後も、キャリア事業部の運営に、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

5 改配合→改廃合ではないでしょうか？

ご指摘の通り、ONLINE参加回答フォームの設問で、誤字がございました。
ご指摘いただけたので、早速修正いたしました。ありがとうございます。

6

効率的で効果的な改廃合をお願いします。☒

やる気のある方をお願いします。

当県運営部が機能していないので積極的な支援をお願いします。

※具体的にどのようなことを望んでおられるか、ご意見頂戴した上で、以下の回答をしております。

■運営協議員の任期について

現 県運営部長＝総会議案承認後の県代表は運営協議員です。この役は支部規定により任期が2年と定められているため、2025年度は改選となり、立候補者がいなかったため、現 運営協議員内での推薦により新たな方を擁立しました。

■「総会」という名称について

基本、正式な「総会」実施の義務があるのは本部のみです。

よって、各支部・各県で開催するものは「総会」という名称を改める必要がございます。

各支部で総会という名称を用いるのがNGではなく、他一般社団法人でも支部単位で「総会」名称を用いているところもございますが本部のガバナンスを強化していくことを考えると、東北支部では名称を改める必要があると考えているところです。

今回は「議案があったため」に支部では総会という名称を用いますが、議案が無い場合は「活動報告会」等に変更しようと考えております。ご要望のものは「報告会」や「活動検討会」のようなものと認識しております。

■県代表の県内会員とのコンセンサスについて

ご指摘のように、県会員が一同に会して活動の方向性や情報共有を定期的にはかることが望ましいと考えております。しかし、本業を持ちながら活動する会員においてはいわゆる一般社会の「組織化」は困難であり、限界があることも事実です。これは他県でも同様です。

そこで、実際に県会員に限定した情報交換や活動の方向性を協議したいということでしたら今後は事務局を通して「会員部」にご連絡いただければと存じます。

新任の県代表をサポートしながら、県会員の共有の場の提供を模索することが可能です。

7 (第3号議案に対し)活動を維持できない組織を無理に維持するよりは、一回解体した方が良いと思います。 今後、必要性が生じた場合には、その都度、必要な期間だけ組織をプロジェクトとして立ち上げるなどの方がベターと思います。

どの組織でも各事業におけるスクラップ＆ビルドは必要であり東北支部においてはその管轄範囲の広さから、各県での活動は各県会員の方に ゆだねる部分がこれまで多くございました。

ただ、本業をお持ちの会員様が県の活動を担うのはなかなか困難な面もあり今回の議案により「各県会員の活動参加が促進されるサポート」を会員部が担うことで、活性化をはかりたいと考えております。

活動内容によっては都度プロジェクトを立ち上げることも視野に入れながらしっかりとサポートして参りたいと考えます。

8 理事会で採択されたものを総会で再度決議を取ることに違和感を感じた

おっしゃる通り、既に本部理事会で決定済みのものを支部で決議をすることは、「決定事項なのに何故か？」という疑問がおりかと存じます。

総会設立の定数は本部により定められたものですが、この定数変更に関しては支部規程の変更も必要なため、支部会員の承認が必要となります。

本部の決定事項が支部で審議無しに履行されるには、本部自体の規定を変更する必要があり、このような手続きをしております。

9

- 会員数の関係もあるのかも知れませんが、23名の運営協議員に対して宮城県の会員が16名は各都道府県の声を活動に反映させる上で偏重していると考えます。資格取得後の研鑽にもオンライン講義を活用すればよいという意見もありますが、宮城に比べて青森は集合研修参加にも旅費などのコストも要します。資格取得後、各地域において公平な研鑽な機会が図られますよう検討願います。
- 県代表の運営協議員は、県運営部長としての役割を兼ねることになるのでしょうか。その場合には県内会員の研鑽活動等についてどのような権限を持つことになるのかよくわかりませんので、ご説明をお願いします。（議事録の配布等があるのであればその記録の閲覧でも結構です）
- 改廃合により何がどう変わるのか説明を聞きたい。
- 役割名称変更により各県の活動に障りが出ないかが気になります。名称変更のメリットを伺いたいです。
- 本部からの一方通行の活動のみで、地域としてのきめ細かい活動が難しくなる恐れを感じます。

運営協議員は第一に立候補者を募っており、残念ながら今回どの県からも立候補はございませんでした。各県から満遍なく立候補の方が出ることが望ましいのですが、皆さん日中の本業を考慮すると、難しいのも致し方なく、月1の定例会議や土日の実質研修運営等を考慮すると、難しいのかもしれません。そのために各県の代表者を通しての意見出しという仕組みを取っております。今回審議で県運営部という部署自体は無くなり、県代表は会員部(現会員研修部)直下となります。よって県運営部長という役職もなくなります。この背景には、各県での運営について県運営部長を補佐して研修企画や実施に当たる人員の確保の困難さから、運営部と言いながら、県運営部長ひとりが動くだけとなっていることも多く、運営部という名称は実態と乖離しているとの意見によるものでした。よって、新たな組織では、会員部直下の県代表として各県内の研修企画や実施について協議検討を行う役割であり且つ、会員部の方で様々な各県からの意見を代表と検討していく仕組みとなります。強化すべきは各県で、各会員が参加しやすい研修やこれまで宮城でしか実施できなかった研修を各県開催するための協議・検討だと考えております。ご理解、ご協力いただければ幸いです。

10

前回の総会の際、質問をさせていただき、継続検討としてご連絡をいただいております。

検討の現況についてお知らせいただきたくよろしくお願いいたします。

※昨年総会時に「ONLINE運営部」の設立のご要望を頂いておりました。

結論から申し上げますと、「ONLINE運営部」の設立は見送らせていただきます。

理由としては以下をご確認ください。

.....

1__学習グループは会員の自己研鑽を同好の志と行うことを目的とする、会員自身が任意で立ち上げるものです。新たな立ち上げについて、支部としては管理規約である、代表者が所在する県での確認が必要なほか、内容は審査をさせていただきます。

支部の役割は新たな設立における「チェック機関」を担っていることであって支部がグループを立ち上げることは致しません。

2__上記1を踏まえ、新たな学習グループの立ち上げのために事業部レベルの新たな組織を立ち上げるまでではない、という考えです。

現在、協会本部ではオンデマンドに関する検討も始まっており、学習グループという枠組みとは別に、コンテンツを選択しての場所と時間を選ばない学習参加が可能になるかもしれません。

ご期待に添えず申し訳ございませんが、引き続きご意見頂戴できれば幸いです。

11

アクセスキーはzoom参加予定者には（参加申し込み時点ではなく、あるいは参加申し込み時点とプラスして）前日や当日にメール等で送ると、参加者がメモする必要がないようにも思います。

アクセスキーに関しては、改めて前日にオンライン参加者の方には、ZoomURLと一緒にメール連絡させていただくように致します。

神田裕子氏の問題について産業カウンセラー協会としての公式に声明を出してもらいたいと思います。公式に声明を出すのが難しいのであれば、せめて会員向けに出すことを検討して欲しいと思います。

以下は本部より回答を得たものです。

・・

基本的な対応として、当協会が声明を出す予定はありません。

理由としては、当該著者は当協会の非会員であり当協会とは無関係であるからです。

既知のとおり、「産業カウンセラー」の呼称使用は看過できませんので、著者、出版社に対して所定の手続きを行い、結果として産業カウンセラーの呼称使用はなくなりました。

会員の方からも、非常に迷惑だという声も多数伺いましたし、当方も同様に思います。

とは言え、無関係の方に対して当協会があれこれいうことは、無用な「あおり」につながる恐れが御座います。

本件は徐々に沈静化しつつありますが、決着したわけではなく、著者、出版社が当協会の警告に対してどのように回答してくるのか未だ不透明です。

内容によっては、こちらもそれなりに対応せざるを得ませんが、今後の展開を有利にするためにも、冷静な対応が必要となります。

「こちらとしても本の内容にあれこれいうつもりはなく、呼称を使用しなければよい」というスタンスを貫きたいと考える次第です。慎重な対応が重要との認識です。

13 会員部に負担がかかりすぎる。県運営にまで手が回らない。

ご心配おかけし、申し訳ございません。

実際には、現 会員研修部にかかる研修等については、事業推進部、相談事業部等と連携して共催となるものも増えるかと存じます。

特に、これまで宮城県外で実施できていなかった開催も共催することで各部負担を軽減していけると考えております。

各県会員同士の交流等も、ONLINE交流会等を上手に組み込むなど、会員サポートに大きな負担がかからないようにしたいと考えます。

実際には初の試みとなるので、状況を鑑みながらこれまでと異なる手法で新たな挑戦をし、新たな結果を生み出したいというところです。

引き続き、ご協力、ご意見よろしくお願いいたします。

■本部の定款変更は支部の独自性とか、今まで切磋琢磨してきた支部活動をどのようにお考えなのでしょうか。今後は、各地で開催してきた全国大会も無くなるという事でしょうか

14 ■総会は、組織の最高意思決定の場であると認識しています。提案のような1/5以上では少ないと考えます。総会への注目が低いことを改善するか、議決権を持つ意思のある会員と無い会員を分けるか、総会に参加しないメンバーの退会を進めるなども検討して、総会の形骸化を避ける方向で検討してはいかがでしょうか。

支部定足数に関しては、本来「総会」という名称を用いて実施する義務があるのは本部だけであり、それならば支部への負担を減らそうという本部理事会での話で決定されました。

決して支部の独自性を蔑ろにする意図はないと思われませんが、いかがでしょうか。

具体的にどのような危惧がおありかご教示いただければ幸いです。

今後「支部総会」という名称は「活動報告会」等のように名称を変えることを昨年の総会でもお話しさせていただいておりました。ただ、ご指摘のように議決権を持ちながらも総会に関与いただけない会員様が多いのも事実です。今後、どのように「活動報告会」に参加いただけるか、これは運営協議員をはじめ

会員の皆様からご意見頂戴したいと考えております。

また、各地開催の全国大会はこの定款の件とは関係なく、各地での開催については言及がございません。

但し、各地域での開催には時間的にも費用的にも人的にも大きな負担があることから開催に消極的な支部が多いのも事実です。今後、開催の在り方には議論が必要かもしれません。

15 社会的な流れから、電子投票はいい方法だと思います。

ありがとうございます。

昨年の総会より「DX化推進」をご説明させていただいておりその一環となります。

16 運営協議員を担当される皆様、たいへんお疲れ様です。

どうもありがとうございます。

新役員承認の暁には、会員の皆様の期待に応えられるよう丁寧なご説明をさせて頂いた上での改善・改革をより一層進めてまいります。



総会中の質疑応答はございませんでした。
引き続き、皆さまからのご意見・ご要望を
随時お聞かせいただければと存じます。

ご意見・ご要望をお待ちしております。
ご遠慮なく、支部事務局までメールいただけないでしょうか。
宜しくお願い致します。